

ドリームファイブ

2014年度（平成26年度）特別勘定の現況

●投資環境（2014年度）

日本株式市場

日経平均株価は、期初14,870円で始まりました。4月に5%から8%への消費増税が実施された直後の金融政策決定会合での現状維持決定を受け、4月中旬に同株価は今年度の安値となる13,885円まで下落しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定したことで外国為替市場において円安が進行し、輸出関連の大型株を中心に同株価は上昇し、12月には2007年7月以来の18,000円台まで到達しました。1月にはECBが量的緩和を3月に実施することを決定したことを好感し、米欧株価が上昇したこと等を受け、3月に日経平均株価は、2000年5月以来の今年度高値19,778円まで上昇しましたが、その後やや戻し期末は19,206円で終了しました。

外国株式市場

米国のS&P500は、期初1,873.96で始まりました。4月上旬の米企業減益決算等により、同指数は1,814.36まで一時下落しました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念、米国金融政策の量的緩和終了やエボラ出血熱の感染者拡大等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時1,820程度まで下落しました。12月に原油価格の急落、ロシアルーブルの急落、1月にスイスフランの急騰等を受けリスク回避的に同指数が2,000前後まで下落する局面がありましたが、その後堅調に推移し同指数は2月に史上最高値となる2,119.59をつけました。期末は若干値を戻しS&P500は2,067.89で終了しました。また、英国のFTSE100は、期初6,598.37で始まりました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時6,072.68まで下落しました。その後は、徐々に上値を切り上げつつ堅調に推移し、同指数は3月には史上最高値となる7,065.08にまで上昇しました。その後、やや反落しFTSE100は6,773.04で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは、期初0.64%で始まり、日銀の金融緩和策の買入継続等による国債の良好な需給環境を背景に、0.5%前後まで徐々に低下しました。9月には米国の早期利上げ観測や日本の株価上昇等に伴い、同利回りは0.58%程度まで上昇しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定すると、同利回りは0.44%程度まで低下しました。その後発表された2014年7-9月期GDPマイナス成長、消費増税の実施時期を2017年4月に確定すると安倍政権より意思表示があったことや日銀の追加緩和の効果等を受け、同利回りは1月に0.20%程度まで低下しました。1月下旬の金融政策決定会合で追加緩和策が見送られると同利回りは上昇に転じ、その後は0.30～0.50%程度の幅で推移しました。10年物国債利回りは0.40%で期末を迎えました。

外国債券市場

米国10年債利回りは、期初2.81%で始まりました。10月中旬にかけて、世界景気の減速懸念、エボラ熱感染者拡大、米国の量的緩和終了等を受けたりリスク回避的な動きから、同利回りは一時2.2%程度まで低下しました。また、年度後半に原油価格の下落が顕著となる中、インフレ率の低下、新興国経済の需要鈍化の観測等を背景に、同利回りは1月に1.64%まで低下しました。2～3月にかけては、米国労働市場の回復等を背景とする2015年内の利上げ観測等から2.2%程度まで同利回りが上昇する局面がありましたが、米国10年国債利回りは1.92%で期末を迎えました。また、ドイツ10年国債利回りは、期初1.56%で始まりました。その後、ECBによる追加緩和期待やデフレ懸念等を背景にほぼ年度を通じて同利回りの低下局面が継続しました。3月にはECBによる量的緩和導入が決定され、0.16%程度まで一段と低下しましたが、ドイツ10年国債利回りは、0.18%で期末を迎えました。

外国為替市場

ドル円相場は、期初1米ドル＝103.07円で始まりました。4月～8月までは1米ドル＝100～105円程度の狭い幅での動きが継続しましたが、9月にはGPIF改革による海外投資拡大等への期待から1米ドル＝110円程度まで円安・ドル高が進行しました。10月下旬～月末にかけFOMCにおける米国の量的緩和終了決定、日銀による追加緩和の決定等により、円安・ドル高が一段と進行し、12月には1米ドル＝122円近辺にまで到達しました。その後、3月まで1米ドル＝115～122円程度の幅で一進一退の動きが継続し、1米ドル＝119.95円で期末を迎えました。また、ユーロ円相場は、期初1ユーロ＝141.96円で始まりました。日銀の追加緩和決定による円安・ユーロ高が進行し、12月には1ユーロ＝149.78円に到達しました。その後、ECBの量的緩和導入決定等によりユーロは下落基調を強め、3月には一時1ユーロ＝126.91円まで円高・ユーロ安水準に到達し、1ユーロ＝128.68円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2014年度決算（決算日：2015年3月31日）を行いました。当資料は2014年度の運用状況をご報告するものです。

3ページ以降は特別勘定レポート（2015年4月発行（2015年3月末現在））からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額					
	新興国株 配分変更型	MU新興国債券	MUグローバル型	アジア債券円H	日系外貨建 債券円H	MUマネー
現預金・コールローン	7	3	27	37	23	12
有価証券	129	64	539	740	447	197
公社債	-	-	-	-	-	-
株式	-	-	-	-	-	-
外国証券	129	-	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-	-	-
株式等	129	-	-	-	-	-
その他の証券	-	64	539	740	447	197
貸付金	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	2	-	2	0
貸倒引当金	-	-	-	-	-	-
合計	136	68	569	777	473	210

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額					
	新興国株 配分変更型	MU新興国債券	MUグローバル型	アジア債券円H	日系外貨建 債券円H	MUマネー
利息配当金等収入	-	5	22	75	15	0
有価証券売却益	-	-	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	93	19	163	270	97	-
為替差益	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	25	-	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	71	22	113	307	89	-
為替差損	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-	-	-
収支差額	-3	2	73	38	23	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
新興国株配分変更型	アダプティブ・リスク・コントロールEMファンド	-	-	191,847	156,544
MU新興国債券	三菱UFJ新興国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）	7,886	10,100	30,068	31,532
MUグローバル型	三菱UFJグローバル型バランスファンド50VA（適格機関投資家限定）	123,188	181,260	107,978	137,543
アジア債券円H	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド（円ヘッジコース）VA（適格機関投資家限定）	-	-	388,601	419,425
日系外貨建債券円H	TMAニッポン世界債券ファンド（為替ヘッジあり）VA（適格機関投資家限定）	4,566	5,100	153,424	155,716
MUマネー	三菱MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	89,043	89,043	170,540	170,540

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険GF（Ⅶ型）ドリームファイブ	555	2,239

※単位未満切捨て

特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用 ^{*1}
新興国株配分変更型	アダプティブ・リスク・コントロールEMファンド	J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド ^{*2}	年0.6%程度 ^{*3}
MU新興国債券	三菱UFJ新興国債券ファンドVA(適格機関投資家限定)	三菱UFJ投信	年0.756%(税抜年0.7%)程度 ^{*4}
MUグローバル型	三菱UFJグローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)		年0.648%(税抜年0.6%)程度 ^{*4}
アジア債券円H	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド(円ヘッジコース)VA<適格機関投資家限定>	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	年0.9612%(税抜年0.89%)程度 ^{*4}
日系外貨建債券円H	TMAニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)VA(適格機関投資家限定)	東京海上アセット・マネジメント ^{*6}	年0.6696%(税抜年0.62%)程度 ^{*4}
MUマネー	三菱MRF(マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJ投信	年1.0%以内 ^{*5}

【参考指数】

日本株式：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

外国株式：MSCIコクサイ インデックス(税引き前配当込み、円換算ベース)

新興国株式：(新興国株配分変更型)MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引き後配当込み、円ヘッジベース)

(MUグローバル型)MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引き前配当込み、円換算ベース)

日本債券：NOMURA-BPI総合インデックス

外国債券：シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)

新興国債券：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)

*1 資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更する可能性があります。

*2 J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドは、この書面に含まれる情報について一切の責任を負いません。したがって、J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドおよびその他のJ.P.モルガングループ各社は、いかなる説明や保証も行いません。また、この書面の正確性または完全性等についていかなる責任も負いません。いかなる者もJ.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドを代表して発言することは認められておりません。J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドおよびその他のJ.P.モルガングループ各社は、この書面のいかなる表現および本商品のいかなる勧誘にも責任を負いません。

2014年5月16日付で、アダプティブ・リスク・コントロールEMファンドの運用会社は、「J.P.モルガン・マンサール・インベストメンツ」から「J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド」に変更になりました。

*3 主な投資対象となる投資信託の受託会社報酬率を記載しています。投資信託の運用には受託会社報酬率の他、運用手法を実行するための取引費用等がかかりますが、発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

*4 主な投資対象となる投資信託の信託報酬率を記載しています。投資信託の運用には信託報酬の他、信託財産留保額、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかります。これらの費用は一部(「アジア債券円H」の主な投資対象となる投資信託の信託事務の諸費用【監査報酬を含む、投資信託の純資産総額の年率0.05%相当額が上限】・「日系外貨建債券円H」の主な投資対象となる投資信託の監査報酬【投資信託の純資産総額の税込年率0.0108%、上限年32.4万円】)を除き、発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

*5 主な投資対象となる投資信託の信託報酬率は年率1.0%以内で以下の通りとします。

①各週の最初の営業日から翌週以降の最初の営業日の前日までの毎計算期にかかる信託報酬率は、当該各週の最初の営業日の前日までの7日間の元本1万円あたりの収益分配金合計額の年換算収益分配率に0.11を乗じて得た率以内の率とします。

ただし、当該率が年率0.22%以下の場合には年率0.22%以内の率とします。

②上記にかかわらず、当該信託の日々の基準価額算出に用いるコール・ローンのオーバーナイト物レート(以下「コール・レート」といいます)が、0.4%未満の場合の信託報酬率は、当該コール・レートに0.5を乗じて得た率以内とします。

*6 2014年4月1日付で、商号が「東京海上アセットマネジメント投信株式会社」から「東京海上アセットマネジメント株式会社」に変更となりました。

特別勘定の運用方針

特別勘定の名称	運用方針
新興国株配分変更型	主な投資対象となる投資信託を通じて、実質的に新興国株式および短期金利資産を投資対象とし、価格変動率を抑制しつつ、資産配分比率を自動的に見直す運用を行い、中長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
MU新興国債券	主な投資対象となる投資信託を通じて、新興国の現地通貨建の公社債等に投資することにより、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)に概ね連動する投資成果を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。
MUグローバル型	主な投資対象となる投資信託を通じて、国内外の株式および債券に投資することにより、資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式10%、外国株式30%、新興国株式10%、日本債券15%、外国債券25%、新興国債券10%です。
アジア債券円H	主な投資対象となる投資信託を通じて、主として、日本を除くアジアの企業が発行する米ドル建ハイ・イールド債券に投資することにより、資産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。
日系外貨建債券円H	主な投資対象となる投資信託を通じて、日系発行体が世界で発行する外貨建ての債券などに投資することにより、安定した収益の確保と資産の中長期的な成長を目標として運用を行います。原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。
MUマネー	主な投資対象となる投資信託を通じて、主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、コマーシャル・ペーパー等の円短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保を目指します。

●特別勘定の主な投資リスク

価格変動リスク	有価証券等の市場価格の変動により、資産価値が減少することがあります。
金利変動リスク	金利水準の変動により、資産価値が減少することがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動により、資産価値が減少することがあります。
信用リスク	有価証券の発行母体の経営・財務状況の悪化等により、資産価値が減少することがあります。また、スワップ取引等の相手先の経営・財務状況の悪化等により取引上の債務が履行されないまたはその可能性が高いと判断される場合、資産価値が減少することがあります。
カントリーリスク	有価証券の発行国の政治・経済・社会情勢の変化により、資産価値が減少することがあります。

※投資リスクについては、「特別勘定のしおり」に詳しく記載しておりますのでご確認ください。

特別勘定 純資産総額の内訳

2015年3月末現在

特別勘定の名称	資産配分		純資産総額 (百万円)	特別勘定の名称	資産配分		純資産総額 (百万円)
	有価証券等	現預金 その他			有価証券等	現預金 その他	
新興国株配分変更型	94.8%	5.2%	136	アジア債券円H	95.2%	4.8%	777
MU新興国債券	94.4%	5.6%	68	日系外貨建債券円H	95.0%	5.0%	471
MUグローバル型	95.2%	4.8%	567	MUマネー	94.1%	5.9%	210

※ 資産配分は小数点第2位を四捨五入し、純資産総額は単位未満を切り捨てて表示しています。

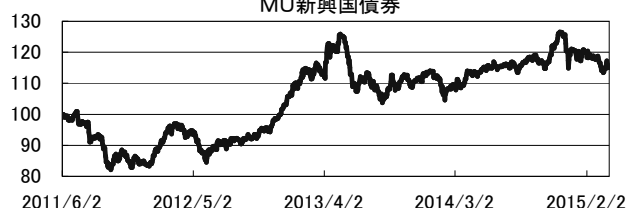
特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率

2015年3月末現在

新興国株配分変更型



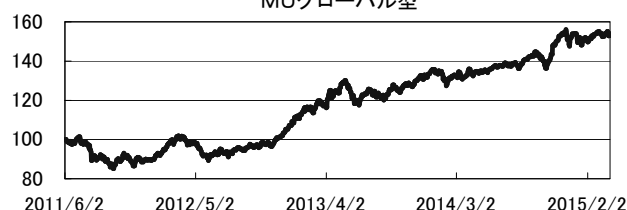
MU新興国債券



新興国株配分変更型		アダプティブ・リスク・コントロールEMファンド		ユニット プライス	64.51
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-5.54%	-5.95%	-6.39%	-4.10%	-35.48%

MU新興国債券		三菱UFJ新興国債券 ファンドVA*		ユニット プライス	115.68
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-2.31%	-3.99%	-1.03%	2.89%	15.68%

MUグローバル型



アジア債券円H



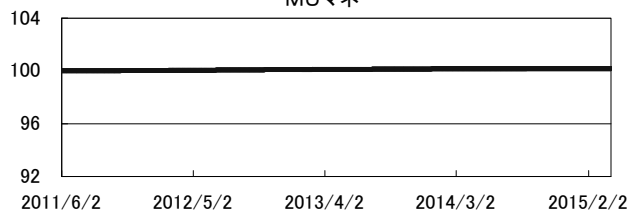
MUグローバル型		三菱UFJグローバル型 バランスファンド50VA*		ユニット プライス	154.13
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-0.36%	0.11%	7.69%	14.93%	54.13%

アジア債券円H		GSアジア・ハイ・イールド 債券ファンド (円ヘッジコース)VA*		ユニット プライス	126.67
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	1.12%	2.92%	-0.43%	3.42%	26.67%

日系外貨建債券円H



MUマネー



日系外貨建債券円H		TMAニッポン世界債券 ファンド (為替ヘッジあり)VA*		ユニット プライス	114.01
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	0.62%	2.18%	2.65%	4.50%	14.01%

MUマネー		三菱MRF (マネー・リザーブ・ファンド)		ユニット プライス	100.18
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.18%

* 適格機関投資家限定

※ ユニットプライスと期間収益率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・変額個人年金保険GF(Ⅶ型)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

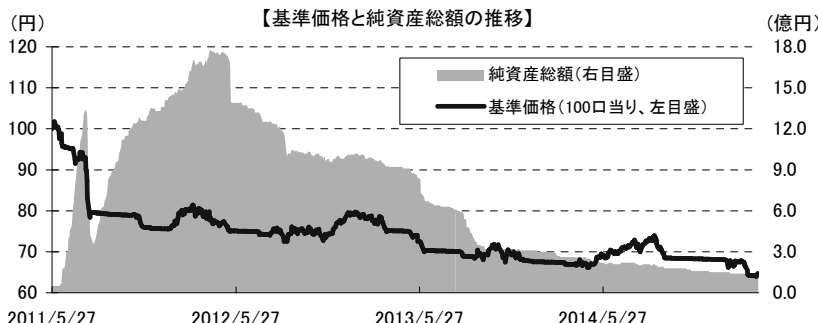
【組入投資信託の運用概況】

2015年3月31日現在

アダプティブ・リスク・コントロールEMファンド

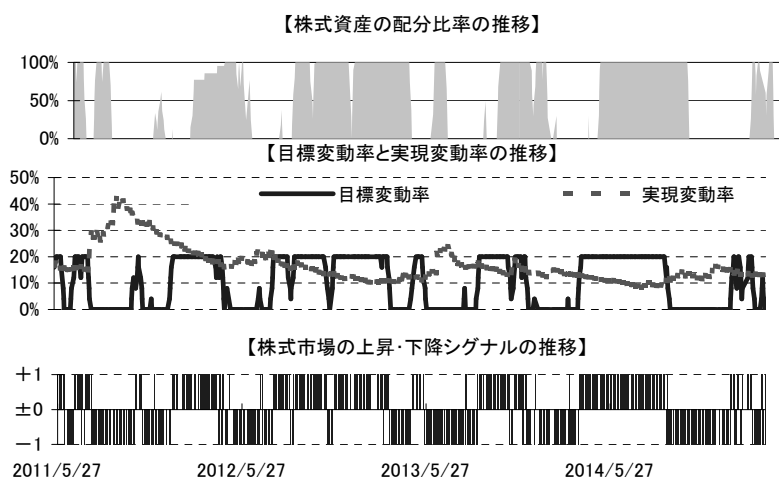
【運用方針】

当ファンドは、スワップ取引等を活用してファンドの価格変動率を一定水準以下へ抑えながら、実質的に株式資産（新興国株式）と短期金利資産への投資配分比率を自動的に見直す運用を行い、中長期的観点に立った信託財産の成長を目指すことを目的とします。



●基準価格(100口当り)	64.54円
●純資産総額	1.2億円
●株式資産の配分比率	61.41%
●設定日	2011/5/27

日付	騰落率
1か月 (15/2/27)	-4.48%
3か月 (14/12/30)	-5.30%
6か月 (14/9/30)	-5.75%
1年 (14/3/31)	-3.38%
設定来 (11/5/27)	-35.46%



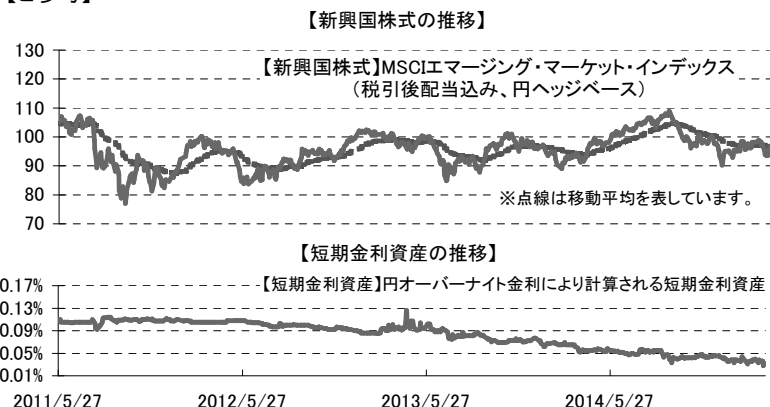
【株式資産の配分比率】は0%から100%の範囲で変動します。配分比率は目標変動率÷実現変動率×100で計算されます。(直近の配分比率と比較して±10%超変動しない場合は変更されません。また、目標変動率が実現変動率を上回った場合、配分比率は100%となります。なお、配分比率を計算してから実際に適用されるまでには3営業日かかります。)

【目標変動率】は20%から0%の範囲で計算日までの株式資産の移動平均値と計算日における株式資産の当日値とを比較して日々計算されます。(変更幅は4%単位)

【実現変動率】は計算日までの株式資産の移動平均から計算される価格変動率として日々計算されます。(目標変動率および実現変動率における移動平均は計算日に近い値に高い荷重を掛ける指数移動平均を用います。)

【株式市場の上昇・下降シグナル】は移動平均から判断して、株式市場が+1の場合は上昇、-1の場合は下降傾向にあることを表しています。(あくまでも指標ですので実際の株式市場の値動きと異なることがあります。)

【ご参考】



【主な新興国株式市場の月間騰落率】

アジア	中国	2.4%	中東・アフリカ	コロンビア	-8.2%
	韓国	1.3%		ペルー	-4.0%
	台湾	-0.7%		南アフリカ	-2.5%
	インド	-4.3%		トルコ	-6.9%
	マレーシア	-2.5%		エジプト	-0.8%
	インドネシア	1.0%		モロッコ	-4.2%
	タイ	-2.2%	欧州	ロシア	-2.7%
	フィリピン	0.8%		ポーランド	-1.0%
中南米	ブラジル	-11.5%		ハンガリー	7.5%
	メキシコ	-2.9%		チエコ	-2.4%
	チリ	-2.2%	指数全体		-1.6%

3月のエマージング株式は下落しました。新興国市場は、中国経済が鈍化しつつあるとの懸念や、2月の米雇用統計発表を受け米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げが近づいているとの観測が広がり、新興国市場資産に対する需要が抑制され、下落して始まりました。しかしその後、米金融当局が利上げを急がないことを示唆し、下落を一部取り戻す展開となりました。

ARC戦略のエマージング株式エクスポージャーは3月平均で47%でした。その結果、ファンドは4.48%の下落となりました。

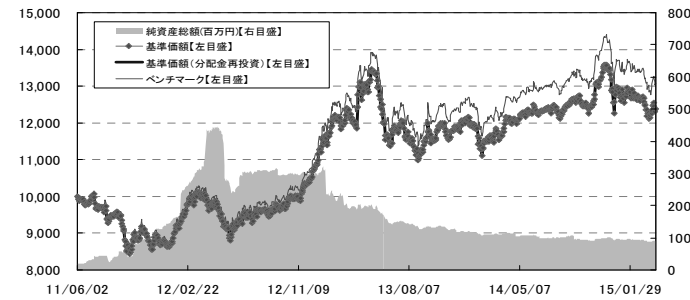
■J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドは、この書面に含まれる情報について一切の責任を負いません。したがって、J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドおよびその他のJ.P.モルガングループ各社は、いかなる説明や保証も行わず、また、この書面の正確性または完全性等についていかなる責任も負いません。いかなる者もJ.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドを代表して発言することは認められておりません。J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドおよびその他のJ.P.モルガングループ各社は、この書面のいかなる表現および本商品のいかなる勧誘にも責任を負いません。

運用：J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンドVA(適格機関投資家限定)

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日前営業日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。信託報酬率は、純資産総額に対し年率0.70%(税抜)です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ・ベンチマークは、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)です。JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)とは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。

◆ファンド現況

	2015/3/31	前月末	前月末比
基準価額	12,374円	12,682円	-308円
純資産総額(百万円)	90	92	-3

	基準価額	日付
設定来高値	13,587円	2014/11/25
設定来安値	8,437円	2011/10/4

◆分配金実績(税引前)

	直前期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2015/1/26	2014/1/27	2013/1/28	2012/1/26	-	-	
分配金	0円	0円	0円	0円	-	-	0円

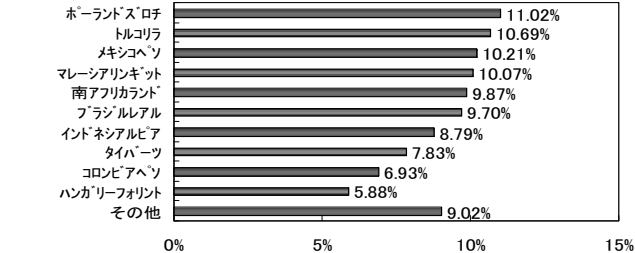
・1万口当たりの税引前分配金実績です。

◆利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	6.19%	デュレーション	4.78年
直接利回り	6.02%	平均残存年数	7.18年

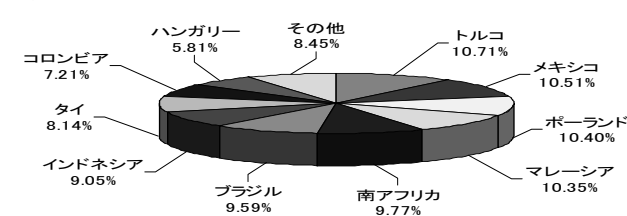
・数値は、債券現物部分について計算しています。

◆通貨別組入比率



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆国別配分



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

◆ファンドの特色

- ①新興国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、新興国の現地通貨建ての公社債に直接投資することがあります。
- ②新興国債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の現地通貨建ての公社債に実質的な投資を行い、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ③マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。
- ④対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し公社債の実質投資比率が100%を超える場合があります。
- ⑤実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	96.09%	96.97%	-0.88%
内 現物	96.09%	96.97%	-0.88%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.43%	-4.19%	-0.97%	3.30%	24.83%	23.74%
ベンチマーク	-2.81%	-4.45%	-0.73%	4.43%	30.30%	30.81%
差	0.38%	0.26%	-0.23%	-1.13%	-5.47%	-7.07%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	1.02%
1～3年	21.14%
3～7年	34.33%
7～10年	19.33%
10年以上	20.27%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 174 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	7.75 COLOMBI (GL) 210414	国債	7.750%	2021/4/14	コロンビア	2.64%
2	10.5 SOUTH AFRICA 261221	国債	10.500%	2026/12/21	南アフリカ	1.88%
3	3.875 THAILAND 190613	国債	3.875%	2019/6/13	タイ	1.49%
4	10.5 TURKEY GOVT 200115	国債	10.500%	2020/1/15	トルコ	1.17%
5	5.75 POLAND 220923	国債	5.750%	2022/9/23	ポーランド	1.16%
6	8.375 INDONESIA 240315	国債	8.375%	2024/3/15	インドネシア	1.16%
7	10(IN)BRAZIL NTN-F170101	国債	10.000%	2017/1/1	ブラジル	1.15%
8	3.65 THAILAND 211217	国債	3.650%	2021/12/17	タイ	1.13%
9	4 POLAND 231025	国債	4.000%	2023/10/25	ポーランド	1.05%
10	10 MEXICAN BONOS 241205	国債	10.000%	2024/12/5	メキシコ	1.05%

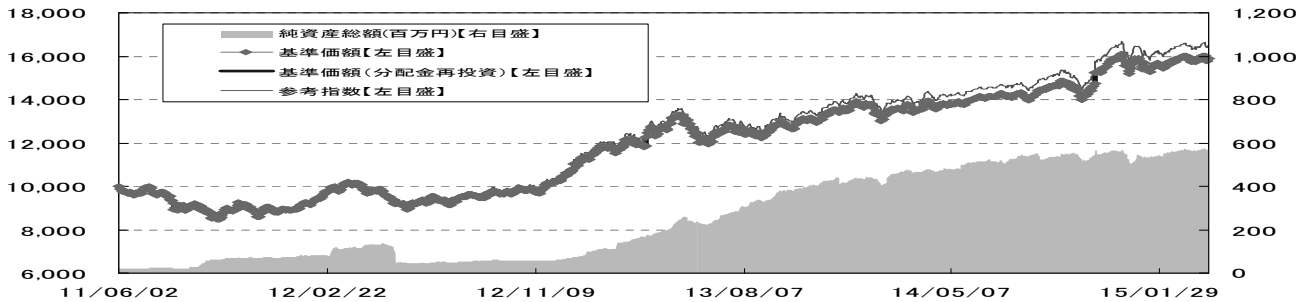
・比率は純資産総額に対する割合です。

運用：三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

◆設定来の運用実績



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、参考指数は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。信託報酬率は、純資産総額に対し年率0.60%(税抜)です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数はNOMURA-BPI総合インデックス15%、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)10%、シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)25%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(税引き前配当込み、円換算ベース)30%、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)10%およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引き前配当込み、円換算ベース)10%で組み合わせた合成指数です。

◆ファンド現況

	2015/3/31	前月末	前月末比
基準価額	15,916円	15,976円	-60円
純資産総額(百万円)	572	567	+5

◆資産構成

	標準 資産配分	ファンドの 資産構成
国内株式	10.00%	10.13%
国内債券	15.00%	14.04%
外国株式	30.00%	29.92%
外国債券	25.00%	24.84%
新興国株式	10.00%	9.99%
新興国債券	10.00%	9.55%
短期金融資産	0.00%	1.52%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融商品」の値がマイナスで表示されることがあります。
- (注)投資信託証券(REITを含む)の組み入れがある場合、株式に含めて表示しています。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.38%	0.12%	8.14%	15.73%	58.70%	59.16%
参考指数	-0.39%	0.15%	8.50%	16.73%	63.47%	65.03%
差	0.02%	-0.03%	-0.36%	-1.00%	-4.77%	-5.87%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2015/1/26	2014/1/27	2013/1/28	2012/1/26	-	-	
分配金	0円	0円	0円	0円	-	-	0円

- ・1万口当たりの税引き前分配金実績です。

◆ファンドの特色

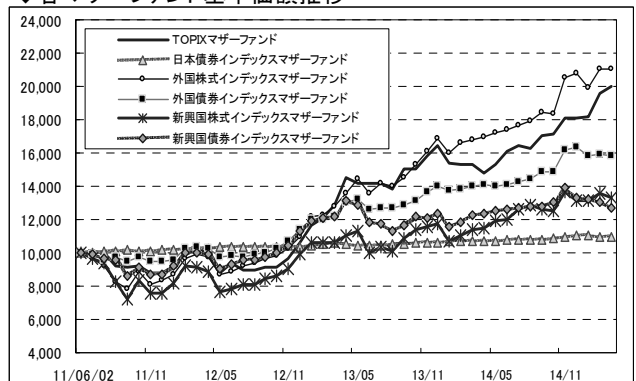
①日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券、新興国債券インデックスマザーファンド受益証券および新興国株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む先進国および新興国の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

②日本債券インデックスマザーファンド受益証券15%、TOPIXマザーファンド受益証券10%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券25%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券30%、新興国債券インデックスマザーファンド受益証券10%および新興国株式インデックスマザーファンド受益証券10%を標準資産配分とし、これを維持します。

③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。

④実質組入外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。

◆各マザーファンド基準価額推移



- ・グラフは三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を10,000として指数化しています。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

運用:三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

参考指数について

◎参考指数は、NOMURAーBPI総合インデックス15%、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)10%、シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)25%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(税引き前配当込み、円換算ベース)30%、JPモルガンGBIーEMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)10%およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引き前配当込み、円換算ベース)10%で組み合わせた合成指数です。

●NOMURAーBPI総合インデックスとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURAーBPI総合インデックスは野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

●東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の算出もしくは公表の停止または東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●シティ世界国債インデックス(除く日本)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)とは、シティ世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

●MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(税引き前配当込み、円換算ベース)は、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(税引き前配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●JPモルガンGBIーEMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。JPモルガンGBIーEMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJPモルガンGBIーEMグローバル・ダイバーシファイド(ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引き前配当込み、円換算ベース)は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引き前配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

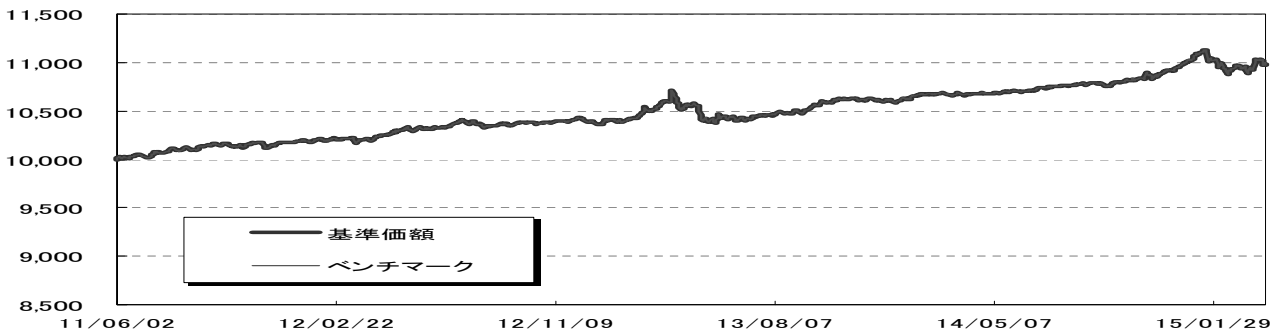
運用:三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

各マザーファンドの運用状況 日本債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、NOMURA- BPI総合インデックスです。NOMURA- BPI総合インデックスとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA- BPI総合インデックスは野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	100.27%	99.89%	0.38%
内 現物	100.27%	99.80%	0.47%
内 先物	0.00%	0.09%	-0.09%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	9.10年	8.75年
修正デュレーション	8.10年	8.03年
複利利回り	0.41%	0.41%

・数値は、修正デュレーションを除き債券現物部分について計算しています。

◆公社債種別構成比

種別	比率
国債	81.01%
政保債	3.48%
地方債	6.66%
金融債	0.88%
事業債	6.16%
円建外債	0.67%
MBS	1.28%
ABS	0.12%
その他	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.40%
1～3年	22.03%
3～7年	29.71%
7～10年	16.39%
10年以上	31.75%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.06%	-0.46%	1.64%	2.97%	7.41%	9.77%
ベンチマーク	0.07%	-0.46%	1.64%	2.97%	7.42%	9.79%
差	-0.01%	0.00%	-0.00%	-0.00%	-0.01%	-0.02%

・騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を起点として計算しています。

◆公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 898 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第117回利付国債(5年)	国債	0.200%	2019/3/20	1.22%
2	第116回利付国債(5年)	国債	0.200%	2018/12/20	1.15%
3	第285回利付国債(10年)	国債	1.700%	2017/3/20	1.09%
4	第329回利付国債(10年)	国債	0.800%	2023/6/20	1.06%
5	第333回利付国債(10年)	国債	0.600%	2024/3/20	0.99%
6	第334回利付国債(10年)	国債	0.600%	2024/6/20	0.99%
7	第122回利付国債(5年)	国債	0.100%	2019/12/20	0.98%
8	第106回利付国債(5年)	国債	0.200%	2017/9/20	0.95%
9	第305回利付国債(10年)	国債	1.300%	2019/12/20	0.94%
10	第102回利付国債(5年)	国債	0.300%	2016/12/20	0.91%

・比率は純資産総額に対する割合です。

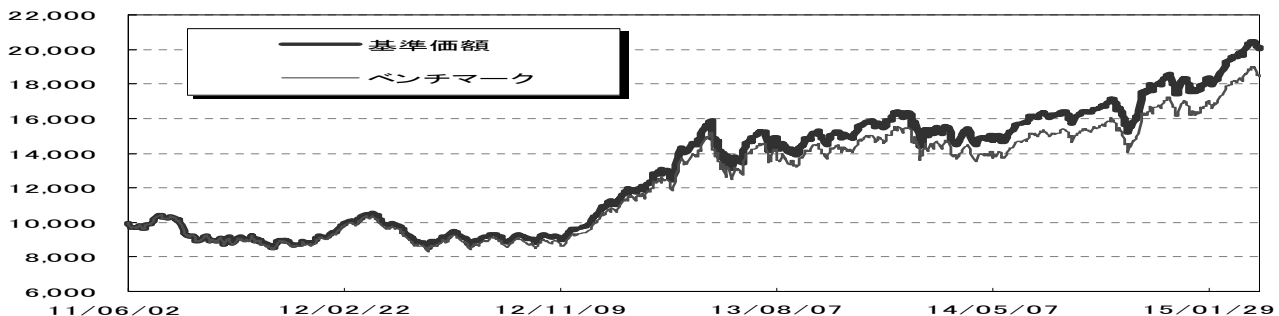
運用:三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

各マザーファンドの運用状況 TOPIXマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です。東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	99.55%	98.93%	0.62%
内 現物	98.00%	97.79%	0.21%
内 先物	1.54%	1.14%	0.41%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.05%	10.53%	17.47%	30.66%	91.96%	100.07%
ベンチマーク	1.26%	9.63%	16.35%	28.28%	80.62%	83.83%
差	0.79%	0.90%	1.12%	2.37%	11.34%	16.23%

・騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を起点として計算しています。

◆株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	13.14%	13.14%
2	輸送用機器	11.73%	11.73%
3	銀行業	8.87%	8.87%
4	情報・通信業	6.68%	6.68%
5	化学	6.15%	6.15%
6	医薬品	5.04%	5.04%
7	機械	5.00%	5.00%
8	小売業	4.39%	4.39%
9	食料品	4.17%	4.17%
10	陸運業	4.09%	4.09%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1858 銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	5.03%	5.13%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.56%	2.61%
3	ソフトバンク	1.58%	1.62%
4	ホンダ	1.53%	1.56%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.49%	1.52%
6	みずほフィナンシャルグループ	1.26%	1.28%
7	日本電信電話	1.24%	1.27%
8	ファナック	1.19%	1.21%
9	KDDI	1.19%	1.21%
10	キヤノン	1.07%	1.09%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

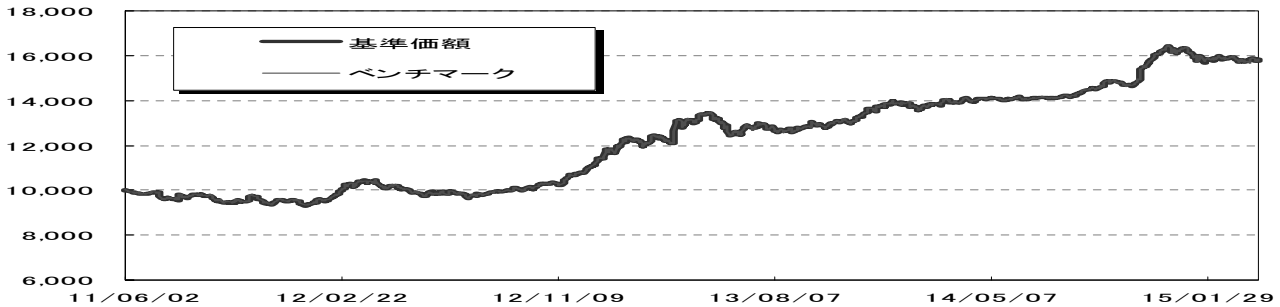
運用:三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

各マザーファンドの運用状況 外国債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です。シティ世界国債インデックス(除く日本)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)とは、シティ世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.45%	99.73%	-0.28%
内 現物	99.45%	99.73%	-0.28%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	7.87年	7.91年
修正デュレーション	6.76年	6.86年
複利利回り	1.05%	1.04%

・数値は、債券現物部分について計算しています。

◆公社債通貨別構成比

	通貨	比率
1	米ドル	41.67%
2	ユーロ	40.86%
3	英ポンド	8.20%
4	カナダドル	2.21%
5	オーストラリアドル	1.70%
	その他	4.83%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.52%
1～3年	28.04%
3～7年	33.05%
7～10年	13.52%
10年以上	24.32%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.40%	-3.09%	6.48%	12.88%	53.11%	58.31%
ベンチマーク	-0.52%	-3.28%	6.41%	12.89%	53.53%	58.27%
差	0.11%	0.18%	0.07%	-0.01%	-0.42%	0.04%

・騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を起点として計算しています。

◆公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 697 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	2.5 T-NOTE 240515	国債	2.500%	2024/5/15	アメリカ	0.54%
2	2.375 T-NOTE 240815	国債	2.375%	2024/8/15	アメリカ	0.46%
3	2.625 T-NOTE 201115	国債	2.625%	2020/11/15	アメリカ	0.46%
4	3.625 T-BOND 430815	国債	3.625%	2043/8/15	アメリカ	0.42%
5	1.625 T-NOTE 190630	国債	1.625%	2019/6/30	アメリカ	0.40%
6	1.5 T-NOTE 180831	国債	1.500%	2018/8/31	アメリカ	0.39%
7	2.125 T-NOTE 210815	国債	2.125%	2021/8/15	アメリカ	0.39%
8	6 ITALY GOVT 310501	国債	6.000%	2031/5/1	イタリア	0.38%
9	1.625 T-NOTE 190831	国債	1.625%	2019/8/31	アメリカ	0.37%
10	5.75 O.A.T 321025	国債	5.750%	2032/10/25	フランス	0.37%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

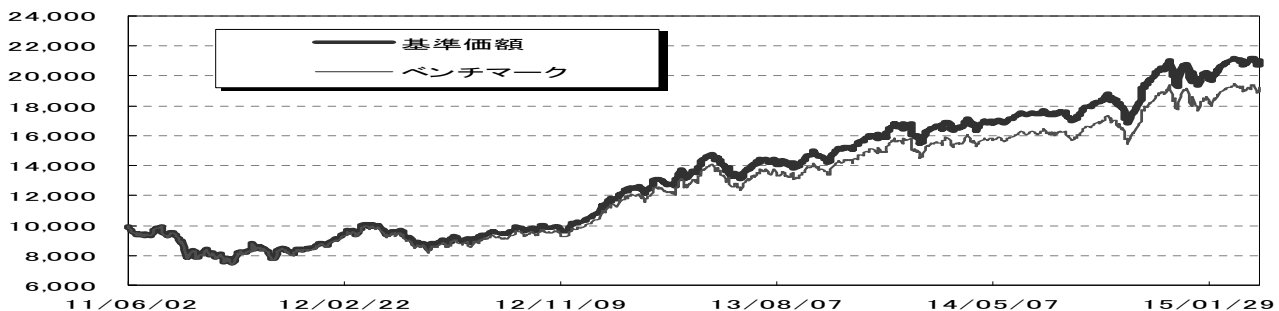
運用:三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

各マザーファンドの運用状況 外国株式インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)です。MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)は、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。
 また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.95%	99.20%	0.75%
内 現物	98.55%	98.13%	0.42%
内 先物	1.41%	1.07%	0.34%

・比率は純資産総額に対する割合です。

(注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.17%	1.08%	14.16%	25.53%	112.98%	110.46%
ベンチマーク	-0.46%	0.44%	13.02%	22.74%	98.32%	92.18%
差	0.29%	0.64%	1.14%	2.79%	14.66%	18.28%

・騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

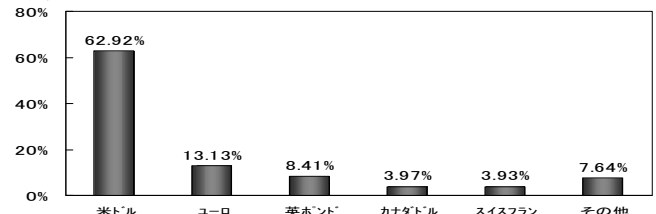
・設定来の騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を起点として計算しています。

◆株式国別配分上位

	国名	比率
1	アメリカ	62.91%
2	イギリス	8.43%
3	ドイツ	4.08%
4	フランス	4.05%
5	カナダ	3.98%
	その他	16.56%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆株式組入上位10業種

	業種	比率
1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.37%
2	銀行	9.37%
3	エネルギー	8.08%
4	資本財	7.14%
5	ソフトウェア・サービス	7.11%
6	食品・飲料・タバコ	6.16%
7	素材	5.05%
8	テクノロジー・ハードウェア・機器	4.58%
9	保険	4.30%
10	各種金融	4.07%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1320 銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	2.35%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.15%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.02%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.90%
5	WELLS FARGO & CO	アメリカ	銀行	0.86%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.80%
7	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.79%
8	NOVARTIS AG-REG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.74%
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.72%
10	PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.71%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

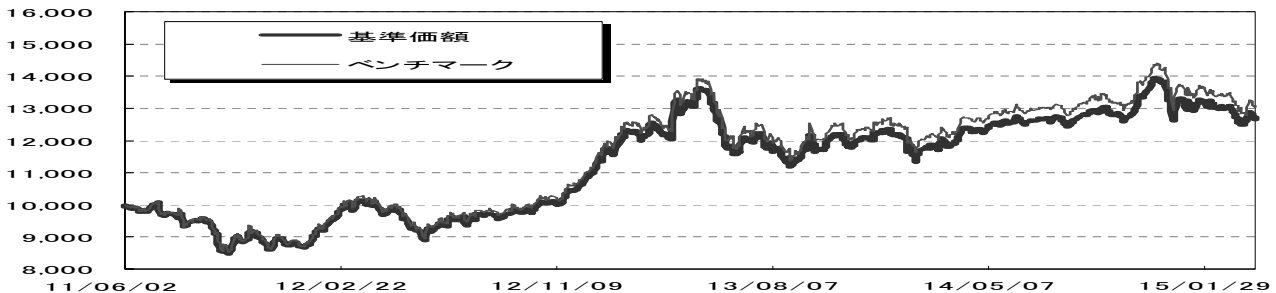
運用：三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

各マザーファンドの運用状況 新興国債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、JPモルガンGBI- EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)です。JPモルガンGBI- EMグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。JPモルガンGBI- EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)とは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJPモルガンGBI- EMグローバル・ダイバーシファイド(ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	96.09%	96.98%	-0.88%
内 現物	96.09%	96.98%	-0.88%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

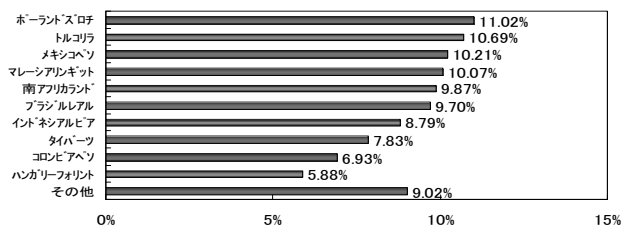
・比率は純資産総額に対する割合です。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	7.18年	7.26年
修正デュレーション	4.78年	4.96年
複利利回り	6.19%	6.34%

・数値は、債券現物部分について計算しています。

◆通貨別組入比率



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	1.02%
1～3年	21.14%
3～7年	34.33%
7～10年	19.33%
10年以上	20.27%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.37%	-4.01%	-0.60%	4.08%	27.65%	27.31%
ベンチマーク	-2.81%	-4.45%	-0.73%	4.43%	30.30%	30.81%
差	0.44%	0.44%	0.14%	-0.34%	-2.65%	-3.50%

・騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を起点として計算しています。

◆公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 174 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	7.75 COLOMBI (GL) 210414	国債	7.750%	2021/4/14	コロンビア	2.64%
2	10.5 SOUTH AFRICA 261221	国債	10.500%	2026/12/21	南アフリカ	1.88%
3	3.875 THAILAND 190613	国債	3.875%	2019/6/13	タイ	1.49%
4	10.5 TURKEY GOVT 200115	国債	10.500%	2020/1/15	トルコ	1.17%
5	5.75 POLAND 220923	国債	5.750%	2022/9/23	ポーランド	1.16%
6	8.375 INDONESIA 240315	国債	8.375%	2024/3/15	インドネシア	1.16%
7	10(IN)BRAZIL NTN-F170101	国債	10.000%	2017/1/1	ブラジル	1.15%
8	3.65 THAILAND 211217	国債	3.650%	2021/12/17	タイ	1.13%
9	4 POLAND 231025	国債	4.000%	2023/10/25	ポーランド	1.05%
10	10 MEXICAN BONOS 241205	国債	10.000%	2024/12/5	メキシコ	1.05%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

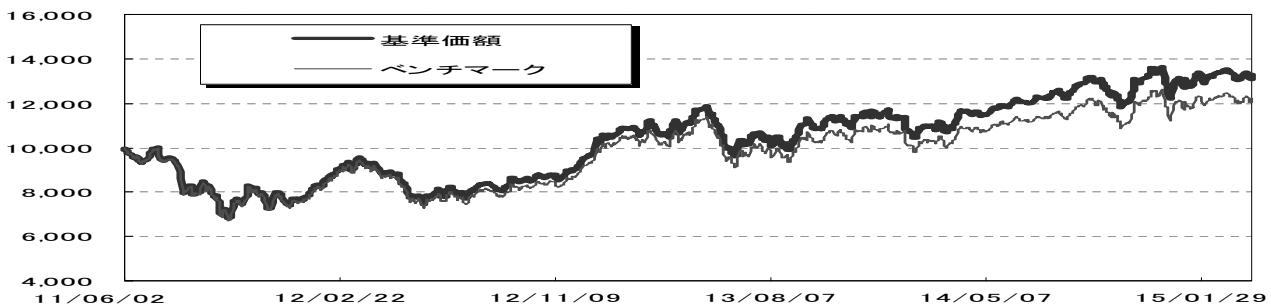
運用:三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

各マザーファンドの運用状況 新興国株式インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)です。MSCI エマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	100.11%	100.11%	-0.00%
内 現物	96.73%	96.35%	0.38%
内 先物	3.38%	3.76%	-0.38%

・比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 投資信託証券(REITを含む)の組み入れがある場合、株式に含めて表示しています。

◆株式国別配分上位

	国名	比率
1	韓国	15.04%
2	台湾	12.66%
3	中国	12.42%
4	南アフリカ	7.85%
5	インド	7.48%
	その他	44.55%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

・国名は、投資対象銘柄の法人登録国を表しています。

・ETF(上場投資信託)は参照インデックスに準じて分類しています。

◆株式組入上位10業種

	業種	比率
1	銀行	18.68%
2	テクノロジー・ハードウェア・機器	8.26%
3	エネルギー	8.02%
4	電気通信サービス	7.39%
5	素材	7.11%
6	ソフトウェア・サービス	5.47%
7	半導体・半導体製造装置	5.37%
8	資本財	4.89%
9	食品・飲料・タバコ	4.81%
10	保険	4.34%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

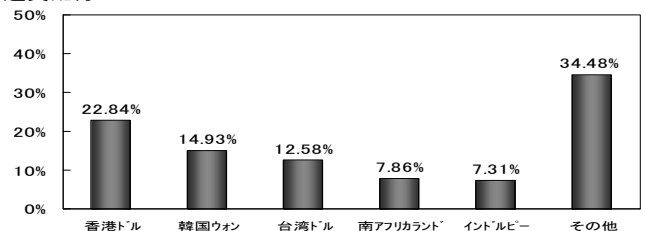
◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.47%	1.16%	5.87%	17.30%	46.54%	33.24%
ベンチマーク	-1.77%	0.75%	5.39%	14.86%	37.19%	22.39%
差	0.30%	0.41%	0.48%	2.44%	9.35%	10.85%

・騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ グローバル型バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)の設定日(2011年6月2日)の前営業日を起点として計算しています。

◆通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 851 銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェア・機器	3.55%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	半導体・半導体製造装置	2.77%
3	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	2.40%
4	CHINA MOBILE LTD	香港	電気通信サービス	1.98%
5	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	中国	銀行	1.49%
6	NASPERS LTD-N SHS	南アフリカ	メディア	1.47%
7	IND & COMM BK OF CHINA-H	中国	銀行	1.34%
8	BANK OF CHINA LTD-H	中国	銀行	1.14%
9	HON HAI PRECISION INDUSTRY	台湾	テクノロジー・ハードウェア・機器	0.92%
10	AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	メキシコ	電気通信サービス	0.86%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・国名は、投資対象銘柄の法人登録国を表しています。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

運用:三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

【組入投資信託の運用概況】

2015年3月31日現在

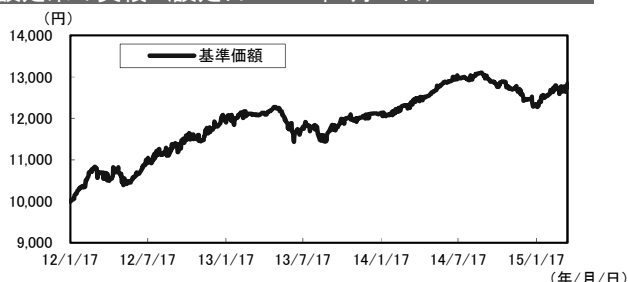
GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド(円ヘッジコース)VA<適格機関投資家限定>

ファンドの特色

- ① 当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として日本を除くアジアの企業が発行する米ドル建てハイ・イールド債券に投資します。
 * 組入れ投資信託証券では、米ドル建て以外の資産に投資することがあります。米ドル建て以外の外貨建資産に投資を行った場合は、原則として対米ドルで為替ヘッジを行います。
 ② 外貨建資産については、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

運用実績

設定来の実績（設定日：2012年1月17日）



基準価額	12,838円	純資産総額	740.1百万円
信託設定日	2012年1月17日	信託期間	2021年10月25日まで
決算日	毎年10月25日（ただし、休業日の場合は翌営業日。）		

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.18%	3.06%	-0.47%	3.58%	20.16%	28.38%

決算期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	設定来
決算月	2012/10	2013/10	2014/10	2015/10	2016/10	累計
分配金	0円	0円	0円	—	—	0円

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。上記の基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

<組入れファンド> ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラストの実績

2015年3月末現在

◆ポートフォリオの資産構成

アジア・ハイ・イールド債券等	90.6%
現金等	9.4%

◆ポートフォリオの状況

組入銘柄数	104銘柄
デュレーション*1	3.59年
最終平均利回り*1	7.24%
平均格付け*1	B格

◆国別比率

国名	比率
中国	22.8%
インドネシア	16.1%
フィリピン	15.0%
香港	9.8%
インド	9.5%
シンガポール	4.5%
タイ	2.8%
ベトナム	2.2%
バングラデシュ	2.0%
韓国	1.9%
マカオ	1.1%
モンゴル	0.3%
その他	2.7%
現金等	9.4%

◆格付*2別比率

格付け	比率
AA	0.1%
A	—
BBB	7.2%
BB	23.7%
B	24.8%
CCC	2.2%
CC以下	1.2%
NA	31.3%
現金等	9.4%

◆業種(セクター)*3比率

業種(セクター)	比率	業種(セクター)	比率
不動産	15.0%	基礎資材	6.6%
消費(景気循環型)	12.2%	金融業	6.0%
消費(非景気循環型)	12.0%	商工業	4.7%
公益事業	10.7%	多角経営	4.0%
エネルギー	9.4%	テクノロジー	1.5%
通信	8.6%	現金等	9.4%

◆組入れ上位銘柄

	銘柄名	国名	クーポン	償還日	業種(セクター)*3	格付け*2	比率
1	SAN MIGUEL	フィリピン	4.8750%	2023/4/26	多角経営	NA	3.5%
2	STUDIO CITY FINANCE	香港	8.5000%	2020/12/1	消費(景気循環型)	B-	2.9%
3	SMC GLOBAL POWER HLDGS	フィリピン	7.5000%	2049/12/31	公益事業	NA	2.9%
4	ROYAL CAPITAL	フィリピン	6.2500%	2049/12/31	消費(非景気循環型)	NA	2.8%
5	CITIC	中国	8.6250%	2049/12/31	基礎資材	NA	2.6%
6	TBG GLOBAL PTE	インドネシア	5.2500%	2022/2/10	通信	BB	2.5%
7	ENERGY DEVELOPMENT	フィリピン	6.5000%	2021/1/20	公益事業	NA	2.4%
8	SOHO CHINA	中国	7.1250%	2022/11/7	不動産	BB+	2.3%
9	GREENKO DUTCH	インド	8.0000%	2019/8/1	エネルギー	B	2.3%
10	PETRON	フィリピン	7.5000%	2049/12/31	エネルギー	NA	2.1%

*1 現金等を含みます。 *2 格付けは、スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズおよびフィッチ・レーティングスのいずれかの格付機関の低い方の格付けを使用しています。

*3 セクターは、Bloombergのセクター分類を使用しています。

※最終平均利回りとは、ポートフォリオに組み入れられているすべての債券が、デフォルト(債務不履行)等することなく償還日において償還されると仮定して計算された年平均の利回りです。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

運用コメント

<アジア・ハイ・イールド市場>

3月のアジア・ハイ・イールド市場は、スプレッド(米国債に対する上乗せ金利)は拡大したものの、米国債の利回りが低下(価格は上昇)したため、上昇する結果となりました。主に月前半にかけて、米国の早期利上げ観測の再燃などを背景に市場のリスク選好姿勢が後退し、スプレッドが拡大しました。その後は在庫積み増し量の低下や、サウジアラビアによるイエメンへの軍事介入を受け中東情勢が緊迫化したことなどを背景に原油価格が持ち直したことに加え、FRB(米連邦準備制度理事会)が利上げを急がない姿勢を示したことなどを背景に、月末にかけて市場のリスク選好度が回復する展開となりました。当月は、前月に引き続き、各国の中央銀行が緩和策を相次いで発表しました。インド準備銀行は4日、インフレの落ち着いたことに加え、経済の弱さを理由に今年2度目の緊急利下げを実施し、政策金利を7.75%から7.5%へ引き下げました。また、タイ中央銀行は11日、低迷する景気のためこれを目的に市場予想に反して利下げに踏み切り、政策金利を2.00%から1.75%へ引き下げました。足元の原油価格の低迷は原油輸入国が多いアジア地域のインフレ環境を急変させており、アジア地域の中銀の金融政策の柔軟性を高める結果になっています。中国では、月内に閉幕した全国人民代表大会にて、2015年の経済成長率目標を市場予想どおり前年の7.5%前後から7%前後へ引き下げることが発表されました。

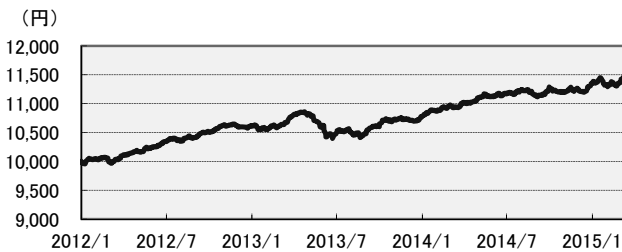
■本資料は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

運用:ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

TMAニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)VA(適格機関投資家限定)

◆基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額とは異なることがあります。
基準価額は信託報酬控除後です。
上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

◆基準価額・純資産総額

基準価額	11,456 円
純資産総額	449百万円
設定日	2012年1月17日
決算日	原則 5月20日
信託期間	無期限

◆騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1ヵ月 (2015/2/27)	3ヵ月 (2014/12/30)	6ヵ月 (2014/9/30)	1年 (2014/3/31)	設定来 (2012/1/17)
ファンド	+0.66	+2.29	+2.77	+4.70	+14.56

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

主要な資産の状況

当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドの資産の状況を記載しています。

◆資産構成

資産	比率(%)
普通社債	67.0
劣後債	32.7
短期金融資産など	0.3
合計	100.0
純資産総額	77,733 百万円

※短期金融資産などは、組入有価証券以外のものであり、純資産総額に占める割合です。

◆保有債券の属性情報

平均残存期間(年)	5.97
平均修正デュレーション(年)	5.18
平均クーポン(%)	3.66
平均利回り(複利、%)	2.61
平均利回り(直利、%)	3.39
平均格付	A+

※保有債券の時価評価額を基に計算しています。
※繰上償還条項が付与されている銘柄は、基準日以降最初の繰上償還予定日を使用して計算しています。平均格付は、格付毎に点数化(例えばAAAは26、AA+は25など)し、加重平均した結果を四捨五入して表示しており、当ファンドの格付ではありません。また、保有債券のうち、格付が取得できない場合は、除外して計算しています。

◆ファンドの特色

- 主として「東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド」受益証券を通じて、日系発行体(日本企業もしくはその子会社、日本の政府機関など)が世界で発行する外貨建ての債券などに投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。

＜投資する債券の範囲＞

当ファンドが実質的に投資対象とする外貨建債券は、一般事業法人が発行する社債や金融機関が発行する劣後債のほか、地方公共団体や国際協力銀行等が発行する特殊債などです。海外で発行するため、海外現地法人などが発行体となっている場合があります。

- 劣後債
発行体の経営破たん時に、借入金や普通社債などよりも債務弁済の順位が劣る債券のこと。その分、普通社債などに比べて利率が高くなります。償還期限に定めのない「永久劣後債」と、償還期限がある「期限付劣後債」があります。
- 原則として、発行体(母体企業の格付けを含みます。)がA格相当以上※の外貨建ての債券などを投資対象とします。
※Moody's社、S&P社、R&I社、JCR社、Fitch社のいずれかからA格相当以上の格付けを取得しているもの
- 北米通貨圏と欧州通貨圏、オセアニア通貨圏の外貨建債券に投資を行います。
- 原則として、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

◆1万口当たり分配金情報(税引前)

基準日現在、分配実績はありません。

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

◆格付別構成比率

格付	比率(%)
AAA格	-
AA格	66.6
A格	33.4
BBB格以下	-
無格付	-

※比率は保有債券の時価総額に占める割合です。
※+/-等の符号は省略して表示しています。

◆組入上位10銘柄

	銘柄名	クーポン(%)	償還日	通貨	格付	比率(%)
1	住友生命保険 SUMITOMO LIFE	6.500	2023/9/20	USD	A-	5.5
2	損保ジャパン日本興亜 SOMPO JAPAN INS	5.325	2023/3/28	USD	A-	4.1
3	三井住友海上火災保険 MITSUI SUMITOMO	7.000	2022/3/15	USD	A-	4.0
4	みずほフィナンシャルグループ MIZUHO FIN GROUP	4.600	2024/3/27	USD	A+	3.9
5	三井住友フィナンシャルグループ SUMITOMO MITSUI	4.436	2024/4/2	USD	AA-	3.5
6	国際協力銀行 JAPAN FIN CORP	2.125	2019/2/7	USD	AA-	3.4
7	野村ホールディングス NOMURA HOLDINGS	2.750	2019/3/19	USD	AA-	3.4
8	日本生命保険 NIPPON LIFE INS	5.100	2024/10/16	USD	A-	3.1
9	地方公共団体金融機構 JPN FIN ORG MUNI	4.000	2021/1/13	USD	AA-	2.9
10	サントリーホールディングス SUNTORY HOLDINGS	2.550	2019/9/29	USD	AA-	2.9
組入銘柄数						63

※比率は純資産総額に占める割合です。繰上償還条項が付与されている銘柄の償還日は、基準日以降最初の繰上償還予定日を表示しています。

(注)格付は「ファンドの特色」に記載している格付機関のうち、原則として、個別債券格付、母体企業格付の中から上位の格付を集計、記載しています。

ただし、個別債券格付と母体企業格付がA-以上に該当しない銘柄については、発行体格付を含めて集計、記載しています。

そのため、個別債券格付はBBB+以下になることがあります。

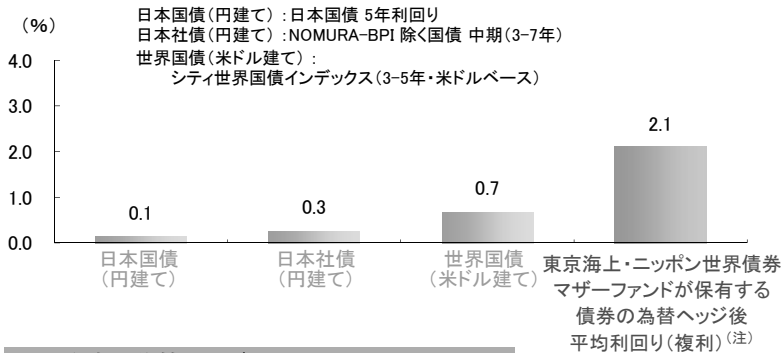
■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用:東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供しておりますが、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

世界の国債・社債と保有債券の利回り比較



※左記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

出所:ブルームバーグ、野村證券、Citigroup Index LLC
※使用しているインデックスは、野村證券、Citigroup Index LLCが公表する指数であり、その知的財産は各社に帰属します。また、各社は対象インデックスについて、正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではありません。

(注) 為替ヘッジのコストは、月末の通貨構成比率を基に委託会社が独自に算出したものであり、実際の利回りとは異なります。当該利回りは、東京海上・ニッポン世界債券マザーファンドが保有する債券のものであり、ファンドの利回りではありません。

《ご参考》為替ヘッジについて

◆為替ヘッジとは

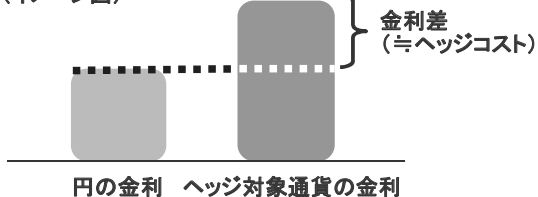
外貨建資産を組み入れた際に、為替変動リスクを低減するために用いられる手法です。
一般的に、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかります。

《ヘッジコスト》

為替ヘッジを行う際にかかる費用(コスト)を指します。

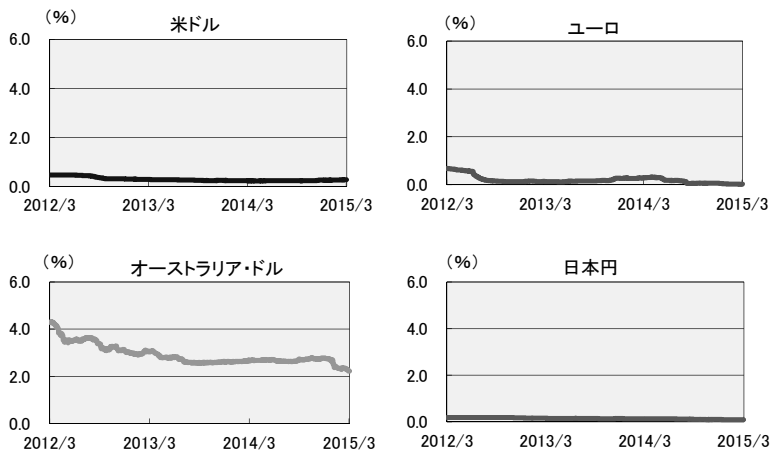
＜ヘッジコストが発生する場合＞
円の金利＜ヘッジ対象通貨の金利

(イメージ図)



◆主要通貨短期金利の推移(過去3年) 出所:ブルームバーグ

※一般的に、日本円と海外通貨の短期金利の水準が、ヘッジコストを計算する際の目安となります。当ファンドにおける実際のヘッジコストとは異なります。



※米ドル、ユーロ、日本円は3か月Libor、オーストラリア・ドルは、3か月銀行手形金利を使用しています。
※上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

ファンドマネージャーコメント

市場動向と運用状況

(金利動向)

米国中期債利回りは、前月から低下(債券価格は上昇)して月を終えました。

月初、事前予想を大幅に上回る米国雇用統計の発表を受けて、利回りは上昇しました。その後はECB(欧州中央銀行)による欧州国債の買い取りが始まるなか低下するドイツ国債利回りに連動して、米国債券利回りの上昇幅は縮小しました。月末にかけてはFOMC(米連邦公開市場委員会)の発表内容から利上げを急がない姿勢が確認できたことなどをきっかけに利回りは低下に転じ、前月から低下した水準で月を終えました。

ドイツ中期債利回りは、ECBの追加金融緩和の効果などを背景にマイナス金利となっており、上昇圧力は乏しいものの低下幅も限られ、前月からおおむね横ばいとなりました。

オーストラリア中期債利回りは前月から低下して月を終えました。

(スプレッド動向)

グローバルの社債スプレッド(社債と国債の利回り格差)は、前月から拡大して月を終えました。

ECBが国債の買い入れを開始し、欧州を始めとして各国の金利が低下し、債券市場の変動性が高まるなか、欧米企業は低金利環境を利用して資金調達を積極化し、社債市場では通常よりも多くの起債が見られました。このような環境下、需給の緩みや利回りが低下(価格は上昇)した社債に対して利益確定売りが出たことにより、グローバルの社債スプレッドは拡大しました。日系企業の外貨建社債スプレッドについては、前月からおおむね横ばいの水準で月を終えました。

(ヘッジコスト動向)

ヘッジコストを算出する上で目安となる短期金利として、米ドル建て3か月Libor、ユーロ建て3か月Liborは前月からほぼ横ばいで月を終えました。3か月オーストラリア銀行手形金利は前月から低下して月を終えました。

ポートフォリオの平均残存期間は6年程度、日系外貨建債券の組入比率は90%超となっています。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用:東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

【組入投資信託の運用概況】

2015年03月31日現在

三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)

◆ファンド概況

	2015/03/31
基準価額	10,000円
純資産総額(百万円)	50,498
設定日	2000年6月5日
信託期間	無期限
決算日	毎日
信託報酬	年1%以内 (3/31現在) 年 0.015%

・決算日の基準価額が1口当たり1円を下回っている場合には、追加設定は行いません。

◆資産構成

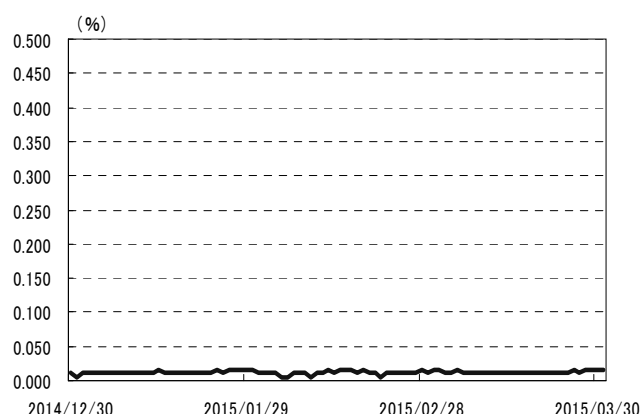
項目	評価金額(円)	組入比率(%)
公社債	23,999,777,474	47.53
(うち固定債)	(23,999,777,474)	47.53
(うち変動利付債)	(0)	0.00
短期金融資産	26,496,488,840	52.47
(うちコールローン)	(16,498,000,000)	32.67
(うちCD)	(0)	0.00
(うちCP)	(9,998,488,840)	19.80
(うち現先・レポ)	(0)	0.00
(うち割引手形)	(0)	0.00
その他資産	1,536,540	0.00
純資産総額	50,497,802,854	100.00

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・固定債：変動利付債以外の債券。
- ・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。
- ・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

◆ファンドの特色

信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。
毎日決算を行い運用の実績に応じて分配します。
収益分配金は、毎月まとめて再投資されます。

◆直近7日間の年換算利回りの推移(直近3ヵ月)



◆債券の平均残存年数

平均残存年数	0.168年
--------	--------

- ・平均残存年数：各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。
- ・変動利付債の残存年数は、次回利払日までとして計算しています。

◆債券の平均利率

平均利率	0.000%
------	--------

- ・平均利率：各債券のクーポンを債券の額面で加重平均したものです。

◆組入資産の種類別残高および組入比率

区分	組入比率 (%)	残存期間別組入比率(%)			
		3ヵ月以内	6ヵ月以内	1年以内	1年超
国債証券	47.53	47.53	0.00	0.00	0.00
地方債証券	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
特殊債証券 (除く金融債)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金融債券	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
普通社債券	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コールローン	32.67	32.67	0.00	0.00	0.00
CD	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
CP	19.80	19.80	0.00	0.00	0.00
現先・レポ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
割引手形	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00

- ・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
- ・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。
- ・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。
- ・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

運用：三菱UFJ投信株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品では、以下の諸費用の合計額をご負担いただきます。

●ご契約時の費用

項 目		費 用
契約初期費用	ご契約の締結や代理店手数料の支払い等に必要な費用	一時払保険料に対して4.0%

●運用期間中の費用

項 目		費 用
保険関係費用* ¹ (保険契約管理費)	ご契約の維持・管理や代理店手数料の支払い等に必要な費用	基本保険金額に対して年率2.3%* ²
資産運用関係費用	特別勘定の運用に必要な費用 (特別勘定ごとに費用が異なります。詳しくは、P.3「特別勘定の内容」をご覧ください。)	投資信託の純資産総額に対して 年率の1/365を毎日控除します

●年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約)

項 目		費 用
保険関係費用* ³ (年金管理費)	年金のお支払い・管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に 責任準備金から控除します)

●年*⁴13回以上のスイッチングを行う場合にかかる費用

項 目		費 用
積立金移転費用	スイッチングを行う場合で、年* ⁴ 13回目からかかる費用	1回あたり1,000円

*¹ この商品の保険関係費用(保険契約管理費)は基本保険金額に対して計算しますので、基本保険金額が一定の場合、保険関係費用(保険契約管理費)は積立金額の増減にかかわらず一定となります。

*² 保険関係費用(保険契約管理費)を控除する際、費用に相当するユニット数(ご契約者が保有する特別勘定の持分の単位数)が減少します。

*³ 保険関係費用(年金管理費)は、毎年お支払いする年金額から差し引かれるものではなく、将来の年金のお支払いのために積み立てられている責任準備金から控除されます。また、保険関係費用(年金管理費)は、将来変更する可能性があります。

*⁴ 「年」とは、契約応当日(契約日)から翌年の契約応当日前日までをいいます。

投資リスクについて

- この商品は、将来受け取る年金額、死亡保険金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしきみの生命保険(変額個人年金保険)です。
- 将来受け取る年金額、死亡保険金額、解約払戻金額等に最低保証はありません。特別勘定は、主な投資対象となる投資信託を通じて、国内外の株式・債券等を投資対象とし、またはスワップ取引等を活用し実質的に株式・短期金利資産を投資対象としますので、ご契約者は収益を期待できる一方、価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・カントリーリスク等の投資リスクを負うことになります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の影響等により積立金額が変動し、年金、死亡保険金、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。また、この商品に一度に大量の解約が発生する等の事情により、お受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。(被保険者が運用期間中に所定の不慮の事故による傷害等でお亡くなりになった場合は、基本保険金額と同額を災害死亡保険金として死亡保険金に加算してお支払いします。)
- 積立金額が0円になった場合、ご契約は消滅します。ご契約が消滅した場合には、以後の死亡保険金、年金等のお支払いはありません。
- 運用対象や運用方針の異なる複数の特別勘定の中から、投資対象となる特別勘定をお客さまの判断で決定していただきます。また、特別勘定の資産運用の成果およびリスクはお客さまに帰属することになります。
- スwitchングを行った際には、選択した特別勘定の種類によっては、その特別勘定の投資リスクがスイッチング前の特別勘定の投資リスクと変わることがあります。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

この商品は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ http://www.tmn-anshin.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせ  0120-237-770 受付時間 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	---



200801